

【水難事故防止への取り組みを推進】

『子供を中心とした河川利用者への注意喚起と啓発活動』を継続するとともに『ベテラン層への啓発活動』も強化していく

令和5年6月16日(金)「第16回 木曾三川(上流)河川安全利用推進協議会」を開催

＜参加団体＞ 58団体(出席:54団体、欠席:3団体)

(協議会委員 : 木曾三川沿川(上流域)の国、県、市町、警察、消防、漁協など関係団体)

令和4年度の取り組み状況(報告)

令和4年度は、令和3年度に引き続き、各団体が子供を中心とした河川利用者への注意喚起と啓発を重点に活動

- 水難事故多発地点の巡視を強化
- 安全教育や安全講習会の実施
 - ・ 夏休み前に子供の水難事故防止に向けた指導や注意喚起を実施
 - ・ 授業での着衣泳の実施や、実際に川に入ること、ライフジャケットの重要性や着衣の仕方、万一流された時の対処法等を学ぶ
- 注意喚起の看板や横断幕の設置
- 教育機関と連携し、岐阜県内の子供に「チラシ」を配布
- 水難救助訓練の実施

令和5年度の取組予定

令和5年度は、子供及びベテラン層への注意喚起と啓発を重点に活動、水難事故が多発する夏休みに入る前に重点的に取組を継続

- 令和4年度の活動実績に加えて、更に取り組みを強化して実施
 - ・ ベテラン層向けの啓発用ポスターの作成と掲示
 - ・ 一般市民を対象にした川の安全講習会を開催
 - ・ HP、LINE等による啓発活動を実施
 - ・ 水難事故防止に向けて救助訓練を実施
 - ・ 人が集まる場所での広報活動を実施
- 教育機関と連携し、愛知県内及び岐阜県内の子供に「チラシ」を配布
- 協議会の連携強化、事故発生時における迅速な情報共有を図る等水難事故防止の対策を進めていく



会議全体の様子

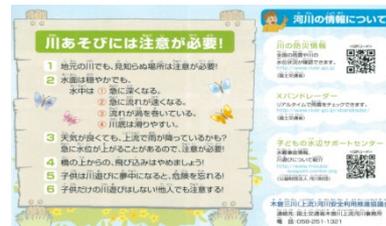


坂垣木曾川上流河川事務所長の冒頭挨拶

(表面)



(裏面)



愛知県内・岐阜県内の小中学生に配布される啓発チラシ



ベテラン層向けに作成したライフジャケット必着のポスター